

イー・ウーマン調査

「キャリア」に関する調査

働く女性が増えてきた。「女性のためのキャリアアップ」などのテーマでセミナーが多く開催されるほどである。女性と仕事に関連することばも多く、「キャリアウーマン」はその一つである。実はイー・ウーマンではこの言葉をあえて「使わないように」としているが、その他にも「キャリア」に関連する言葉は多数存在する。今回、それぞれの言葉が与える印象、実際の仕事の向上心について調査し、893名より回答を得た。

■ キャリアアップと転職…… グラフ1 グラフ2

今回の回答者の属性を見ると転職経験者が多い(回答者の67.1%が転職経験者であり、中でも3回以上転職の経験があるものが29.8%と約3割)。「キャリアアップとは、転職のことだと思うか?」と聞くと、「いいえ」との回答が93.9%と大部分であった。理由として、「転職はキャリアアップの手段の一つである」との考え方、そして、「キャリアアップは職場や環境をかえなくてもできることの一つであり、自分自身で高めていけるものである」という理由が多く見られた。一つの手段としての転職の「目的」は何か。「転職によって、何が達成できると思いますか?」という問い合わせに対して、最も多かったのは「やりがいが上がる」が49.5%、次に「夢の実現に近づく」が43.7%である。給与や労働時間などの改善よりも、「やりがい」や「自分の夢の実現」に向かって自分を高めるために転職をする傾向がある。こうした向上心の高い従業員が自分を高めることができる機会を、社内で提供することの工夫が企業には欠かせない。

■ キャリアをアップする? …… グラフ3

「社内や今いる環境でキャリアアップが可能」という回答が多く見られたが、「キャリアアップ」とはどのような状態を示しているのだろうか。「今のあなたにとって、「キャリアアップ」とはどのような状態だと想像しますか?」と聞いたところ、最も多かったのは、「現在の業務に必要な知識・技術が増えている」で76.7%であった。次に、「収入が上がっている」で67.0%、「モチベーションが高まっている」59.0%、「人脈が増えている」55.2%と続く。また、「内面(肉体や精神や思考)が安定している」と回答した人も半数を超えた。これらは、「裁量権」や「昇格・昇級」よりも回答数が多い。

■ キャリアウーマンとは? …… グラフ4 グラフ5

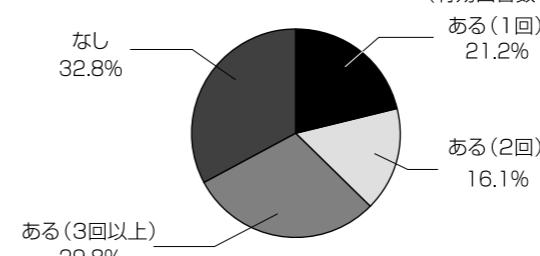
「キャリアウーマン」ということばをどのように捉えているのか。「あなたは、キャリアウーマンですね」と言われて、嬉しいですか? と聞いたところ、63.9%と半数以上が「いいえ」と回答した。その理由は、「仕事しかできない人間に思えるから」「キャリアは生活の一部であり、それがイコール人間の魅力ではないから」「キャリアウーマンというイメージが、女性への評価として一面的だと考えるから」など、キャリア=仕事だけ、という偏りのあるイメージを理由とする人、また、「キャリアマンとは言わないから」「差別用語だと思うから」など、女性に限っての言葉への抵抗感を理由とする人が多く見られた。これを年代別に見ると、少し様子が異なっている。20代では、「はい」の回答が多く、30代前半もポジティブに捉えている人は比較的多い。その理由として20代では、「キャリアウーマンはパリパリ仕事のできる女性」というかっこいいイメージがあるからなど、とても良い印象を持っている。また30代前半では「本や雑誌のタイトルをみていて「仕事が出来る女性」のイメージのある言葉なので」、「評価されたような気がする」などの意見が見られた。その一方で、30代の後半から40代になると、抵抗感が増していることがわかる。理由は、「なりふり構わないイメージ」「近づき難い怖い人のイメージ」また、「女性の柔らかさが感じられない」「優しさが欠けている」といったネガティブなイメージを理由とする人、そして、「いやみに聞こえる」「バカにされている」など褒め言葉と捉えていない意見が多く見られた。また、40代から50代以上では、「古い」、「時代が違う」、「もう使っていないことばだと思っていた」などの意見が多く見られた。仕事を積み重ねてきた世代では、その言葉をかけられている経験も多く、実際に感じたネガティブな印象を持っているようである。

■ セダクティブということばを、イー・ウーマンで知った …… グラフ6

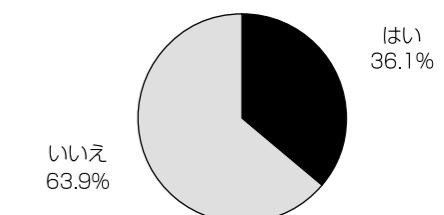
イー・ウーマンでは、2008年度から「セダクティブ」なキャリアを目指すと提案している。日本ではあまりないじみのない言葉であるが、「セダクティブ」とは「魅力的・魅惑的」という意味であり、人と人が惹き付け合うような何かを表す。この言葉について、「セダクティブ」という言葉を知っていますか? と聞いたところ、「知っていた」と回答した人は、わずか10.2%。「イー・ウーマンで知った」と回答した人は、約半数の49.2%であった。「キャリア」という単語から受けるイメージからは、かえって選択の幅を狭めている面があるかもしれません。セダクティブであることは個性化、自己実現というベクトルが加わってより広い意味に受け止められそうで普及していくといなと思います」という自由回答にも見られるように、また、「キャリアウーマン」と呼ばれて嬉しい、と回答した方の多くが言っているように、「キャリアだけでなく、人としての魅力を兼ね備えた人になること」をイー・ウーマンは提案し、また、そのため出来ることを考えていきたいと思っている。

株式会社 イー・ウーマン
<http://www.ewoman.co.jp/>

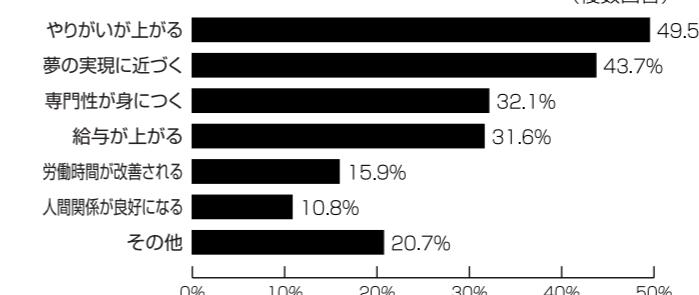
グラフ1 あなたは転職をしたことがありますか?
(有効回答数=892)



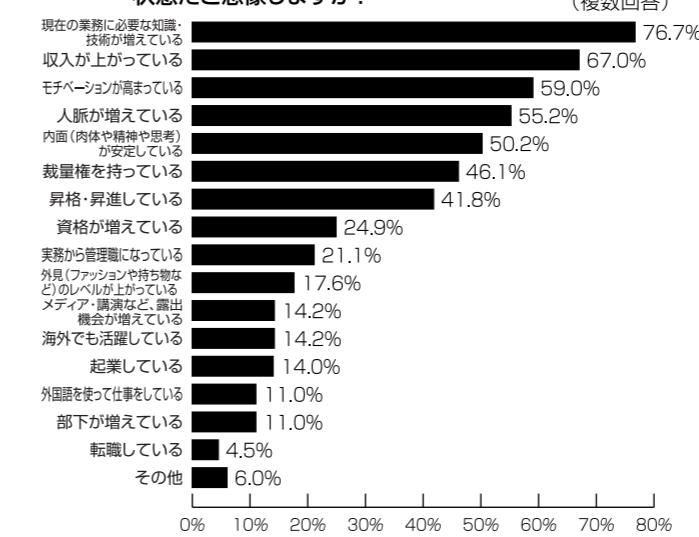
グラフ4 「あなたは、キャリアウーマンですね」と言われて、嬉しいですか?
(全体)



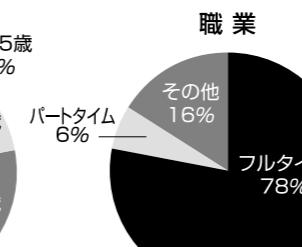
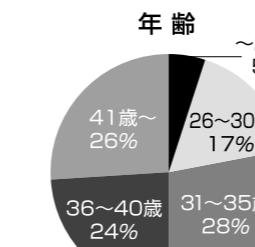
グラフ2 転職によって、何が達成できると思いますか?
(複数回答)



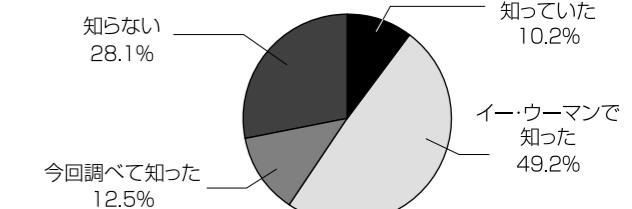
グラフ3 今のあなたにとって、「キャリアアップ」とはどのような状態だと想像しますか?
(複数回答)



LEADERS DATA



グラフ6 「セダクティブ」という言葉の意味を知っていますか?



<調査概要>
調査実施:2008年3月6日(木)～3月11日(火)
調査方法:インターネットによる自記入式アンケート
対象:イー・ウーマンリーダーズ
有効回答数:893名

